

# 地域を愛し心豊かな兵庫っ子の育成

## 坂井市立兵庫小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	11回(のべ) 11日

#### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	7人
授業ボランティア(含:低ボラ)	5人
登下校支援ボランティア	
セーフティパトロール隊の方	85人
その他( )	
	人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育 ～農業体験を通して～」

#### 具体的活動内容

本校では、郷土の自然や地域の人と触れ合う機会の一つとして、地域の特色を活かした水稲や野菜を栽培する農業体験学習を取り入れている。

##### ①米づくり

地域の方から提供していただいた9aの田んぼを学校田「育つん田」とし、5年生を中心に3～6年生で実施した。(品種:日本晴)

- ・田植えオリエンテーション(5月17日)

5年生が、JA農場長さんから米のできるまでの課程と稲の植え方を教えていただき、それを3～6年に伝達講習した。

- ・田植え(5月25日)

下兵庫むらづくり委員の方々をはじめ地域の方や保護者も合わせ約50名の方にお手伝いいただきながら、3～6年91名が手で植える田植えを体験した。

- ・草取り(7月6日)

下兵庫むらづくり委員の方に指導を受けながら、5年生全員で田の草取りをした。

- ・稲刈りオリエンテーション(9月28日)

5年生が、下兵庫むらづくり委員の方に教えていただいた稲の刈り方、結束の仕方を、3～6年に伝達講習した。

- ・稲刈り(9月29日)

田植え同様、約30名の地域の方々にご指導いただきながら、3～6年生で稲刈り、はさ掛けを行った。

- ・献上米(10月2日)

平安時代から室町時代にかけて、兵庫地区が奈良の興福寺の荘園だったという歴史に基づき、兵庫まちづくり協議会が興福寺に米を献上する企画を立て、児童代表が興福寺にて、「育つん田」で収穫した米の一部を献上した。

- ・脱穀(10月7日)

5年生が、はさ掛けした稲をおろす作業と脱穀作業を体験した。



- ・ひょうご元気秋まつり（11月7日）

午前中の学習発表会において、5年生は米づくり体験を劇「育つん田物語」としてステージ発表した。昼食時に、小学生と地域住民が共同で「育つん田」の米を使って「長い太巻き寿司」を作り、児童が収穫したサツマイモで作ったさつま汁と一緒に食した。



- ・独居老人に配布（12月28日）

福祉協議会が行っている年末の餅配りの際に、児童が民生委員さんと一緒に独居老人宅に「育つん田」の米の一部を配布して回った。

- ・介護老人福祉施設「豊楽園」に贈呈（12月2日）

「育つん田」の米の一部を訪問の際に贈呈した。

## ②サツマイモづくり

4aの学校農園において、6年生を中心に全校、縦割り班で実施した。

- ・サツマイモ苗植え（5月24日）

縦割り班（6班編制）ごとに6年生が苗の植え方を下級生に説明し、6年生があらかじめ作っておいた畝に鳴門金時の苗を植えた。

- ・肥培管理（5月～10月）

各班の高学年が当番制で水やりや草取りをした。

- ・サツマイモ掘り（10月13日）

5・6年生でつる切りを行った後、縦割り班ごとにイモ掘りを実施した。

- ・収穫感謝祭（10月19日）

籾殻で燻炭を作り、収穫したイモを濡らした新聞紙に包んで投入し、焼き芋にした。感謝祭として、日頃お世話になっている地域の方を招待した。



## 成果と課題

- ・田植えや稲刈りなどの体験の際は、地域の方々が指導をしてくださったので、世代間交流が図られた。
- ・昨年度に引き続き、はさ掛けを実施した。初めて実施した昨年とは違い、大人も子どもも、スムーズに作業を進めることができた。昔ながらの乾燥の仕方を経験することで、米づくりの苦労についても考えることができた。
- ・収穫した米の一部を興福寺に献上したことで、自分の住んでいる郷土の歴史を知るきっかけとなった。
- ・収穫した米で太巻き寿司を作ったり、サツマイモでさつま汁を作ったりしたことは、子どもたちのみならず、地域住民にとっても、思い出深い経験になった。また、作る際には、食改善委員（婦人会）や兵庫まちづくり協議会の方々の支援があり、地域に一体感が生まれ、たいへん好評を得た。
- ・サツマイモの栽培については、6年生が中心となって縦割り班で取り組んだことで、児童間の縦の交流ができ、とてもよかった。